

「みやざきの魚」を子どもたちに -地産地消への取組-

(ひむか地産地消交流給食会)

10月8日(火)におこなわれた「交流給食会」は、(公財)宮崎県学校給食会主催のもと、日之影町立宮水小学校において、宮崎産めひかりを取り入れた給食を通して地産地消の取組をしたいとの依頼により開催された。これまでも宮崎県学校給食会が主催する「ひむか地産地消交流給食会」の活動を通して宮崎県産魚類の地元消費拡大に向けた活動を展開している。今年度は、都城市立縄瀬小学校に続き2校目となる。

日之影町立宮水小学校の4、5年生を対象に内海定置網の動画を放映し、四季を通して宮崎県内で水揚げされる魚種の説明やお魚クイズを出題した。その後一緒に給食(めひかりの南蛮漬け)を食べた後、昼休み時間には全校生徒を対象に宮崎県内で水揚げされる魚(8魚種)、めひかり(頭付)を展示し、説明をおこなった。生徒たちは、新鮮な生の魚に触れ、目をキラキラさせながら数々の質問をして魚や食への関心を高める事ができた。

